

# みんなの議会



薫風をきって（たかすジョギングフェスティバル）

<b>第2回定例会</b> で決めたこと	2～3ページ
第2回臨時会	3～4ページ
委員会活動	4ページ
いっばんしつもん	5～7ページ
わたしの一言・あとがき	8ページ

あったかす君



# 国民健康保険税条例を改正



第2回定例会は6月15日から2日間の会期をもって開催され、町長の主要な動静について行政報告を受けたあと、3名の議員が一般質問を行い、町長の考えをたどしました。

議案審議では、報告案件2件、条例改正等8件、4会計の補正予算等を審議の結果、原案のとおり議決しました。

そのほか、追加提案として、財産の取得について議決したほか、意見書5件を採択し閉会しました。

## 条例

上川中部障害程度区分審査会  
共同設置規約

障害者自立支援法に基づく障害程度区分の審査判定業務を共同で行うため、5町で共同設置するものです。

北海道市町村総合事務組合規約

組合に収入役を置かないことができる事項を追加する改正です。

### 鷹栖町税条例

地方税法の改正により、国税と地方税の配分変更等による改正です。

鷹栖町ノーマライゼーションセンター設置及び管理に関する条例

鷹栖町サンホール及びびねす設置及び管理に関する条例

各施設を鷹栖町が管理するための条例整備です。

### 鷹栖町立特別保育所条例

中央保育所の削除に伴う条文の改正です。

鷹栖町水道、下水道使用料の

助成に関する条例

「通園訓練施設等へ通園している者」に係る通園施設の条文整備です。

鷹栖町国民健康保険条例  
平成18年度鷹栖町国民健康保険の税率を、「別表」のとおり改正しました。

## 補正予算

### 一般会計

歳入歳出予算に48万3千円を追加し、予算総額43億4,648万3千円になります。

主な内容は上川中部障害程度区分審査会の共同設置に係る経費の補正です。

### 国民健康保険特別会計

歳入歳出予算に2,052万8千円を追加し、予算総額7億4,909万4千円になります。

補正の内容は国保税率の改正及び国庫支出金等の当初交付決定によるものです。

### 老人保健特別会計

歳入歳出予算に1,230万4千円を追加し、予算総額9億5,631万1千円になります。

補正の内容は償還金の確定によるものです。

### 介護保険特別会計

歳入歳出予算に2,172万8千円を追加し、予算総額5億7,036万3千円になります。

補正の内容は償還金の確定によるものです。

# 条例

## 鷹栖町税条例

地方税法の改正により、非課税限度額の引き下げ・土地に係る負担調整の措置等（平成18年度より）、所得割の税率改正等（平成19年度より）ほか条文の整備をしました。

## 鷹栖町都市計画税条例

地方税法及び鷹栖町税条例の改正により、条文の整備をしました。

北海道町村議会議員研修会及び鷹栖町議会議員会研修会の開催

6月29～7月1日

帯広市において北海道町村議会議員研修会が開催され出席し、合わせて議員会主催の現地研修会を開催しました。



田中秀征氏

産業を含め今後すべての牛肉製品に原産国表示を義務つけること、米国からの検査月齢引き上げ要求に対しては断固拒否をすることを求める意見書を可決しました。

## 道路整備に関する意見書

道路特定財源の目的に基づき必要な予算を確保し使途については道路利用者や納税者の意見を反映すること、都市部の環状道路や地方部の幹線道路ネットワーク整備を推進し効果的かつ効率的に行うこと、高規格幹線道路ネットワークの早期形成を図るため効率的な整備・早期事業化を進めることを求める意見書を可決しました。

## 第2回 臨時会 4月28日

### 補正予算

#### 一般会計

#### ・専決処分の承認

予算総額の補正は無く、平成17年度地方譲与税等が確定し増加したため、基金繰入金を1,130万円減額とする専決処分の報告があり、承認しました。

## 別表 鷹栖町国民健康保険税条例改正の概要

	現 行		改 正		
	医療給付費分	介護納付金分	医療給付費分	介護納付金分	
所得割率	100分の9.5	100分の0.8	100分の9	100分の1.6	
資産割率	100分の55	100分の6	100分の54	100分の10	
均等割率	28,000円	4,800円	据置	6,500円	
平等割率	33,000円	7,000円	据置	据置	
1世帯当り課税限度額	530,000円	80,000円	据置	90,000円	
軽減	7割軽減				
	均等割	19,600円	3,360円	据置	4,550円
減額	5割軽減				
	均等割	14,000円	2,400円	据置	3,250円
額	2割軽減				
	均等割	5,600円	960円	据置	1,300円
	平等割	6,600円	1,400円	据置	据置

# その他

教育予算の充実を求め、義務教育費国庫負担制度を堅持することを求める意見書

国の責務である教育水準の最低保障を担保するために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し「交付金化」や「一般

財源化」を行わないこと、30人以下学級の早期実現等を求める意見書を可決しました。

教育基本法の堅持を求める意見書

教育基本法の国家主義的改悪は行わないこと、また改正等に関する検討は、広範な国民的議論を前提に時間をかけて慎重に行われるよう要望する意見書を可決しました。

自治体財政の充実・強化を求める意見書

地方交付税制度の財源保障と財源調整の機能を堅持し、自治体の安定的な財政運営に必要な一般財源の総額を確保することや分権改革の基盤確立につながる税財政制度改革を進めることを求める意見書を可決しました。

米国产牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める意見書

輸入再開条件の遵守を徹底的に監視すること、加工品や外食

## 議会のうごき

4 月

- 3日 職員辞令交付式
- 6日 議会報特別委員会
- 14日 老人大学・大学院入学式
- 17日 議会報特別委員会
- 24日 総務常任委員会
- 25日 議会報特別委員会
- 28日 第2回鷹栖町議会臨時会  
産業建設常任委員会  
鷹栖町商工会通常総会

5 月

- 9日 鷹栖町観光協会通常総会
- 12日 上川地方議員連絡協議会研修会  
(旭川市)
- 13日 衆議院議員今津ひろし政経セミナー  
(旭川市)
- 18日 まちかど対話 (高橋はるみ知事来町)
- 22日 北海道鷹栖高等学校の存続を求める要望署名の提出  
(札幌市)

6 月

- 2日 上川中央都市・町議会議長会定例会議  
(美瑛町)
- 5日 産業建設常任委員会  
民生文教常任委員会
- 6日 総務常任委員会
- 7日 議会運営委員会
- 8～9日 北海道町村議会議長会定期総会及び議長現地研修会 (札幌市他)
- 11日 第2師団設立56周年及び旭川駐屯地開設54周年記念行事 (旭川市)
- 12日 交通事故死ゼロ1,000日達成記念事業  
上川地方総合開発期成会定期総会  
(旭川市)
- 15日 第2回鷹栖町議会定例会  
ふれあいグリーンキャンペーン苗木寄贈式
- 17日 石狩川水防公開演習 (旭川市)
- 20日 大雪土地改良区合併記念式 (旭川市)
- 25日 第22回ジョギングフェスティバル
- 29～1日 北海道町村議会議員研修会及び鷹栖町議会議員会研修会 (帯広市)

研修内容は次のとおりです。  
研修会

### 「政局展望」

福山大学教授

(前経済企画庁長官)

田中秀征氏

### 「分権時代の地方自治・その現在と未来」

中央大学大学院客員教授

辻山幸宣氏

現地研修

### 「帯広市環境複合施設

「帯広くりりんセンター」

事業主体

十勝環境複合事務組合

(帯広市他8町による

複合事務組合)



### 議会運営委員会

6月7日

第2回定例会で審議する議案や意見書の取扱いなど議会運営について協議し、会期を2日間と決めました。

### 総務常任委員会

4月24日

第2回臨時会に提案される条例改正について説明を受け、内容を審議しました。

6月6日

第2回定例会に提案される一般会計の補正予算、条例関係などについて説明を受け、内容を審議しました。

### 民生文教常任委員会

6月5日

第2回定例会に提案される4会計の補正予算、条例関係など

### 産業建設常任委員会

4月28日

品目横断的経営安定対策への移行ほか農業関係政策について勉強会を開催。

6月5日

平成18年産作付状況及び農地・水・環境保全向上対策事業について協議、また、7月に予定している協議をしました。

# いっぱんしつもん

こんなことを **聞** きました

**問** 閉校校舎の活用と  
離農跡家屋の状況について

**答** 地域振興につながる利用と  
所有者の意向を考慮

近藤 義紀 議員

近藤 義紀 議員  
・閉校校舎の活用と離農跡家屋の状況について

青野 敏 議員  
・空家の実態調査と今後の対策は

川上 勝 議員  
・鷹栖町の地域と農業をどう守るか  
・農業委員の待遇改善について

次に、空家については、平成17年の調査で95棟程あり、物置に使ったり、夏の間だけ住んで宅地周りの畑を作る方もいるようです。

空家は、防犯・防災上の対策もとどろづらく、また、不法投棄の場所になったり、管理が十分だと環境問題に発展することもあります。

今後は、所有者や使用者と連絡をとり、取り壊しや管理の徹底をお願いする必要もあると思いますし、利用可能で賃貸または売買してもいいという物件については、「カマイミンタラの伝導師」など、色々なところに

**質問**

平成14年までに、北成・中央・北斗小学校が相次いで閉校しました。

北成小学校跡は、写真展示場と地域の部屋として、また、中央小学校跡は、柏の里デイセンターとして利用されています。

しかし、北斗小学校跡は、閉校して4年経過しましたが、具体的な活用案がありません。

管理費も必要ですし、早急な対策が求められていますが、町長の考えを伺います。

次に、離農跡家屋について、町では、農家から話がある場合は把握しているようですが、全体の軒数は分からないようです。

防犯・防災の面からも対策が必要と感ずますが、町長はどのように考えているか伺います。

方策として、首都圏からの移住促進を目的とした「カムイミンタラの伝導師」という共同事業体が旭川市内にあり、力を借りることも考えられますが、いかがでしょうか。

**答弁 町長**

北斗小学校跡については協議をしてきており、また、地域の「常盤の里考える会」から、郷土資料館を中心とした生涯学習施設を、との要望をいただきました。

単なる施設整備だけでは地域の活性化につながらないと考えますので、地区の振興・発展に結びつくような具体的な検討も必要であり、職員はもちろんな地域の皆さんからも知恵を出していただきたいと思います。



旧北斗小学校

チャンネルを作りながら、新たな住民探しにも取り組んでいき

たいと考えています。

## 問

空家の実態調査と今後の対策は

## 答

ホームページでの紹介も検討する

青野 敏 議員

## 質問

本町は、平成17年の国政調査の結果、前回調査より96名人口が増え、道内でも人口が増加した数少ない市町村の一つとなりました。

数年前から計画的に宅地開発に取り組み、住宅整備事業で居住地域の環境整備を進めた結果、定住促進が図られ、このことと結びついたと考えられます。

しかし、町全体の状況としては、市街地の人口は増加しているものの、農村地域では高齢化等により離農者が増え、空家が多く見受けられます。

今、団塊世代の方々に第二の人生設計について何うと、ゆったりとした静かな環境の中、家庭菜園などを楽しむ生活を望ん

でいるそうです。

空家の実態調査を早急に実施し、その情報を発信することによって一人でも多くの人に定住していただければ、空家対策にもつながると考えます。町長の所信を伺います。



旧歯科診療所

## 答弁 町長

現在、市街化区域内24戸、調整区域27戸、その他の区域で44戸、合計約95棟の空家等があります。

平成8～9年に実施した調査では、町内会や農事組合の協力を得て、所有者の意向確認まで行いましたが、使えそうな所は物置や夏の間だけ使っているそう、賃貸・売買するという発

想の方はおりませんでした。

平成17年の台風18号により状況も変わっていますので、改めて所有者や管理者に利用状況等を確認し、賃貸や売却の希望があれば、町のホームページで紹介することも検討していきたいと考えています。

移住などの問題についても、企画課内に移住相談窓口を設置し、空家の情報と併せて提供していきたいと考えています。

## 問

鷹栖町の地域と農業をどう守るか

## 答

関係機関が一体となり取り組む

川上 勝 議員

## 質問

食糧・農業・農村基本計画は、目標年次を2015年とし、競争力のある農業を目指すとしています。

町長は、以前から「鷹栖町は農業を基幹産業とする町であり、農業の発展なくして自立はありえない」と言っています。

そこで、町として以下の4点に取り組むべきと考えます。

稲作を守るために、施設利用者の負担軽減をさらに進めること。

集落営農の推進や農業生産法人、ミニライセンサーなど、農家の自主的な協力や共同を支援すること。

多額の負債や土地条件の悪い農地など、経営継続に問題のある農家に対して、低利資金・土地改良の助成・経営指導などの支援を強め、いわゆ

る倒産離農を防ぐこと。

新規参入や後継者の対策、  
花嫁対策などの支援をさらに  
強化すること。

地域と農業を守るために何を  
しなければならぬと考えてい  
るのか、所信を伺います。

答弁 町長

食糧・農業・農村基本計画は  
従来からの品目の価格政策から  
担い手や集落営農・集団に焦点  
をある程度しぼった経営安定対  
策に軸足が置かれてきたと理解  
しています。

本町では中山間地域直接支払  
事業をベースとして、町内農業  
者ほぼ全員参加の「地域農業推  
進会議」が組織され、その中で  
農業者自身が農地の利用調整や  
新たな取り組みについて議論し  
ていますので、町や関係機関が  
一体となって支援・協力をする  
と共に、新しい制度へ向かって  
の取り組みもしていきたいと考  
えています。

また、4点の具体的な提案に  
ついては、

施設利用については、「売  
れる米づくり対策事業」とし  
て、平成18・19年の2年間、  
上川ライスターミナルとJA  
たいせつのライスセンターで

の初出荷に対して、1俵あた  
り100円の助成をしていきます  
し、農協や地域農業推進会議  
からの助成もあります。

集団や作業の共同化につい  
ては、地域農業推進会議で地  
域ごとに取り組む事業や、集  
落営農の組織化、さらには北  
斗地区で平成18年から取り組  
んでいる「農地・水・農村環  
境保全向上活動支援実験事業」  
などと併せて支援を行ってい  
きたいと考えています。

負債対策として、負債償還  
が困難な農家に対しては、円  
滑化資金や農業経営基盤強化  
資金の利子補給、新たな事業  
や新規就農者のための資金融  
資も行っており、資金対策・  
負債対策はすでに実施してき  
ています。

土地改良については、現在  
地域農業推進会議で取り組ん  
でいますし、規模の大きなも  
のについては、今まで道営事  
業で取り組んでできています。

新規就農や農業後継者の確  
保支援では、平成14年からの  
5年間で就農支援・研究・研  
修・資格取得などの支援を受  
けた後継者が10名います。

現在、後継者のグループと  
して「フレッシュユース」

という組織があり、約20名参  
加しています。今後、グルー  
プの活動や新規就農・後継者  
の確保などの支援をしていき  
ます。

農業政策が大きく変わってい  
く中、町・農業委員会・農協・  
土地改良区・普及センターで支  
援チームをつくっていきますので、  
幅広く支援をしていきたいと考  
えています。

問 農業委員の待遇  
改善について

質問

現在、農業を取り巻く環境が  
大変な状況にあり、農業委員の  
役割も以前に増して重要になっ  
てきています。

公務としての出席日数も増え  
ている中、費用弁償が平成17年  
度よりカットされました。

今後、さらに出席回数が増え  
ていくと予測されますが、農業  
委員の待遇改善について、町長  
の考えを伺います。

答 報酬等審議会で  
検討する

答弁 町長

費用弁償は、人件費削減の一  
つとして平成17年度で全て廃止  
させていただきました。

ただ、農業委員については、  
平成14年の報酬等審議会の答申  
により、年額4万円引き上げて  
います。

職務の内容に対し、それに見  
合う報酬を出席日数だけで判断  
するのも難しいですし、責任度  
合もありますので、平成18年度  
の報酬等審議会では、少し時間  
をかけて検討していただきたい  
と考えています。



JAたいせつライスセンター

ジョギング大会の日、庭仕事の手を休めて声援を送っていた私に、小学4・5年生らしい少年が、走りながら「こんにちは」と明るく返してくれた。何だか急に嬉しくなり、ほのぼのとした気持ちになった。

伴走者と一緒に、自分のありのままの姿でコースに行く子供も多くいて、思わず「がんばれ」と声を掛けてしまう。

その姿を見送りながら、私はある知事という言葉思い出していた。障害を持つ人達の施設を視察した後で「こういう人達って、生きている価値があるのかな」という発言をしたのだった。

鷹栖町は良い町だな、と私は思う。福祉の後退が始まり、厳しい状況にあることは聞いているけれど、こうして沢山のひとと一緒に走ることができる。「一人一人が大切なんだよ」というメッセージが伝わってきたのだ。

前述の知事の発言は猛反発をかい、謝罪をして終わったのだけれど、議会にある人は弱者の立場を理解し、<sup>まも</sup>護る人であって欲しいと、心から願っている。

## ジョギング大会の日



渡辺 喜美子  
(17区)

わたしの一言

口頭でつづる

## 子ども達の居場所づくりを



丸山 大祐  
(27区)

私が児童クラブの指導員として勤めはじめて10年目となりました。はじめの頃は「新しい会員が入ってくれるのだろうか。」と心配していたほどでした。

ところが、ここ2～3年の間に北野地区と鷹栖地区それぞれに児童クラブができ、急激に利用される方が増えてきました。この流れは全国的なもので、各地域で学童保育を求める声が高くなり、それに伴い大規模化が深刻な問題となっています。

私が勤める鷹栖地区の児童クラブは現在60名の子ども達が通ってきています。建物上の関係や指導員の問題もあり、これ以上受け入れることができないのが現状です。

子ども達の放課後・居場所を守るため、お母さん・お父さん達のためにも、この問題は早急に考えていかななくてはいけないと感じています。行政、父母、そして町民の方々が力を出し合って取り組んでいけたらと思っています。

子ども達が安心して過ごせる地域になるよう、私たち大人が居場所づくりに目を向けていかなければと思います。



盛夏の暖かい日差しを浴びて、農作物が一段と成長を向える、楽しみな季節を迎えました。

みなさんの議会“123号をお届けします”。

今定例会では、3名の議員による一般質問、町より報告2件及び提出案件、意見書の採択等を審議し、議決しました。

先般、北海道市町村合併構想が公表され、構想対象市町村の組合わせ案として旭川市と管内中央部8町の枠組みが提示され、また、政府は今後5年間の歳出・歳入一体改革を柱とした

「骨太の方針2006」を閣議決定し発表されました。今年は、春先の低温と日照不足により、農作物の生育が心配されていましたが、最近の気温の上昇で元気を取り戻してきたようです。

今後も議会報を通じて議会活動等を伝えていきたいと思っておりますので、よろしくご愛読願います。

最後に、わたしの一言にご寄稿くださいました、

丸山 大祐 さん  
渡辺 喜美子 さん

ありがとうございました。  
編集委員一同